

熱 教 学 号 外

令和 3 年 7 月 21 日

報 道 機 関 各 位

熱海市学校教育課

伊豆山小学校終業式に際しての学校長のコメントについて

標記について、別添「伊豆山小学校第 1 学期終業式校長講話」のとおり学校長から児童に向けた講話の要旨をお知らせいたします。

なお、本件については、児童の心理的な影響等を考慮して発出したものである趣旨に対しまして、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(担当)

教育委員会事務局次長 0557(86)6012、学校教育課長 0557(86)6550

学校教育課専門監 0557(86)6560

令和3年7月21日

伊豆山小学校校長 國原尋美

伊豆山小学校 令和3年度1学期終業式 校長講和

今日、3か所に分かれてではありますが、画面（ズーム）上でみんなの顔と顔が繋がっての終業式を迎えられたことをとてもうれしく思います。みんなは、お友達は元気かなあと、会いたがっていたものね。よかったね。

今、伊豆山には、毎日千人以上の消防士・警察官・自衛隊の人が、町を元通りにしようと全国から助けに来てくれています。でも、伊豆山の町が生活できるようになるまでは、数か月、あるいは数年かかるかもしれません。町のみんなの心が戻るのも同じだけの時間がかかるかもしれません。みんなも子供なりに地域の一員として、どう役に立てるかを徐々に考えられるようになったらうれしいです。中学生が避難しているホテルの入り口で、食料や物資の仕分けを手伝っていました。力強いなあと感心しました。小学生のみんなは、学校再開の日に、ほぼ全員が登校できました。みんなが揃ったことで、家の人も地域の人たちも、先生方も勇気をもらいました。ありがとう。

これから日常を少しずつ取り戻し、みんなが楽しくおしゃべりし、伊豆山小のみんなが揃って学習できるようになることが、第一歩になるはずです。大変なことがあると思うけど、みんなで協力して、工夫して、心を伝えあって、一緒に乗り越えていきましょう。